

「あれしなさい」「これしなさい」の毎日に、 ふっと力を抜けるひとときが!

なお
鈴木菜生さん
千葉県・会社員

Goodbye Perioの活動で出会った一般の方たちは、その後本当にフロスを続けているのでしょうか？
今回ご紹介するのは、柏市の親子イベント※に会場した鈴木菜生さん。シングルマザーとして、7歳の娘さんと4歳の息子さんの子育てに奮闘中です。イベントから約2ヶ月。鈴木さんファミリーの“その後”をお聞きしました。

※5月18日に千葉県柏市で行なわれた幼稚園協会主催のイベント『e-まちタウン』。8名のグッベリメンバーが親子向けに啓蒙活動をしました。

どんなにいい子でも
子育てって本当に大変!

こんなこと親が言うのも何ですが、うちの子は一人とも本当にいい子！お姉ちゃんも弟をかわいがっているし、弟はお姉ちゃんのこと大好き。人なつこくて元氣いっぱい、私にはもったいないくらいなんです。
それでも、毎日の生活では何度も同じことを注意しなければいけないから大変です。
「早くお風呂から出てー!」「8時半までにはご飯を食べなさい」「ねえ、時計見てるの?」「歯磨きは?」
子どもはテキパキできないものだとわかっていても、ついイライラしてしまつて……。時間に余裕がないから私も焦つてしまつてですね。日中職場で一人になると、「ああ、昨日も怒つてばかりだったな」「あんな言い方しなければよかったなって反省するんです。一人で育てているからこそ、「私がしっかり教育しなくちゃ!」と知らないうちになんか張っているのかもしれない。

「歯ぐきバイキン」は
インパクト大!
自主的にフロスを
してくれませう

そんな「あれしなさい」「これしなさい」の毎日。息子が「歯磨きのあとはこれやるんですよ?」と自分からフロスを持ってきたときはうれしかったですね!

柏市のイベントで子どもたちの口の中の細菌を見せてもらったんですが、そのインパクトがすごかったみたい。「バイキンを取るためにフロスするんだよね」と、子どもなりにちゃんと理解していました。寝る前のフロスは今、すっかり子どもたちの日課。「まずは腕とおんなじ長さに切つてえ」なんて二人で言いながら、歯科衛生士さんに教えてもらったとおりやっていますよ!

お口のケアをきちんと習慣づけるのは親として絶対に手を抜けないことのひとつです。自主的にやってくれるおかげで、気持ちがちよつと楽になりますね。このままフロスを続けて、将来ずっとキレイなお口でいてほしいと願っています。